東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーの未来は
あなたの手の中に

Vol.43　第2122回例会　2010.5.6

今年度会長テーマ　「誠心誠意、和をもって」“事にあたろう”

■司会：
熊木例会運営委員

■点鐘：山本次年度会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
石山会員

■会長報告　山本次年度会長

本日は枕山会長が体調を崩されて欠席されておりますので、質・量・迫力とも及びませんが会長の代行をさせて頂きます。宜しくお願い致します。

■幹事報告　高橋幹事

今日は何の日？
なぜ！お祝いの御膳でしょう!!
そうです。皆さんご案内の通りの我が「東京東村山ロータリークラブ」がＲＩから承認された喜ぶべき記念の日であります。42年前の今日、昭和42年5月6日ＲＩより承認を受けました。日本で793番目に承認されたクラブです。※現在日本には2,310のクラブがあります。
因みに第2580地区内では23番目の設立です。※第2580地区では、現在70のクラブが有ります。
43年間の大きな歴史と重みを感じます。このような歴史あるすばらしいクラブで幹事をさせて頂いた事に感謝申し上げます。
※スポンサークラブ　東京立川ロータリークラブ
（50周年）のもと認証状伝達式　昭和42年10月10日
※昭和45年11月27日　東京清瀬ロータリークラブ創立
※昭和47年２月23日　東京東大和ロータリークラブ創立

■ガバナー事務所：
・ＲＩ保健と飢餓支援グループのレポートの受理
（英文のみ　戸田アジア地区エリアコーディネーターより）
・青少年交換留学生　川野邊さんからのレポートの受理

■国際ロータリー事務局：
国際大会における投票代議員カード・信任状の受理

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／中丸　繁男　野村　高章
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

■東京武蔵村山ＲＣ：
2010～2011年度 第1回多摩分区連絡会の案内
2010年6月1日(火)　16:00～
於　パレスホテル立川

■桜華女学院：
学校長交代のお知らせ
日高富久氏　退任
小林　節氏　着任

■バギオ基金委員会：
地区バギオ基金委員会新旧懇親会及び勉強会
開催の案内について
2010年6月14日(月)
16:00～勉強会　　17:00～懇親会
於　料亭 千代田

■東京江戸川ロータリークラブ：
2010～2011年度第47回インターアクト年次大会
の案内の受理について
2010年8月8日(日)　10:00～
於　愛国学園記念講堂
未提唱クラブ協力金　30,000円

■バギオ基金：
「ロータリーの友」記事掲載のお知らせについて
「ロータリーの友」2010年5月に

■例会変更：
東京東大和ＲＣ
5月11日(火)→16日(日)親睦旅行へ変更

■回覧：
「友」インターネット速報　No.426
バギオだより
所沢中央ＲＣ週報

■出席報告　　相羽例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
37	30	1	4	88.24

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：8名
■前々回出席率メークアップ修正後：77.14%
■前々会メークアップ者：
小町会員：東京立川ＲＣ
目時会員：地区協議会
嶋田会員：所沢中央ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　　高橋クラブ管理委員

■ご結婚祝月：
木下会員、野澤会員
樺澤会員、相羽会員

■会員誕生祝月：
高橋(眞)会員
山本会員

■令夫人誕生祝月：
木下会員

◆野澤会員：皆さん連休はいかがでしたか。私は7年に1度行われる諏訪の御様大祭を見に行ってきました。久しぶりに日本の男意義を感じてきました。

◆田中会員：今週の日曜日5月9日テレビ朝日19:00～21:00ビフォーアフターで当社の匠の技が紹介されます。是非見て下さい。創業時からの職人ががんばります。

◆高橋幹事：本日はＲＩから承認された記念の日です。皆様おめでとうございます。枚山会長の代役、山本次年度会長ありがとうございます。本日はよろしくお願いいたします。

◆隅屋会員：先月末に東村山市長より久米川駅北口まちづくりの功績で表彰状と記念品を戴きました。都市設計にご指導下された小町先生、他皆様のご声援に感謝申し上げます。

◆山本会員：質・量・迫力とも枚山会長には及びませんが、本日は会長代行をやらせていただきます。皆様よろしくお願いします。

本日のニコニコ合計：　30,000円
累　　計　：1,245,680円

■委員長報告

■中丸次年度幹事

本日皆様のメールボックスに、次年度組織表を入れさせて頂きました。各委員長の方には事前にご了承頂きましたが、皆様ご自分の委員会を確認の上ご了承をお願い致します。これに伴い、5月20日と21日の両日に炉辺会合を別紙の通り開催いたしますので宜しくお願い致します。なお都合により該当する委員会の日に出席できない場合は他の日でも結構ですので、どちらかの炉辺会合に出席をお願い致します。

■田中ゴルフ部長

ＦＲＣゴルフコンペが6月14日に西武園ゴルフにて、東大和ＲＣのホストにより開催されます。現在13名の皆様が参加されることになっていますが、より多くの会員の参加を宜しくお願い致します。ゴルフを通してクラブの活性化と親睦をより一層深めましょう。

■卓話

■卓話者：
山本次年度会長

地区協議会報告

4月13日に椿山荘で行われた地区協議会の報告を致します。2010～2011年度ＲＩ会長レイ・クリンギンスミスのテーマ「地域を育み　大陸をつなぐ」の中にあるメッセージとは？、まず一般の人々からロータリクラブとは何をしている団体ですかと聞かれた時に、皆さんは何と答えますか。そのためには

①ロータリアン以外の人々に、ロータリーの目的をしっかりと説明すること。

②ロータリアンに今一度ロータリーの原則の重要性を再認識してもらうこと。

の2点が大事であり、会長テーマの中に潜む重要ポイントであります。

さて上野ＧＥの本年度活動方針は、以下の通りとなります。

1. 各クラブには自治権が有り、クラブの自治権を発揮して、クラブの活性化を図ってもらいたい。
2. レイ・クリンギンスミス会長のテーマを受けて、各クラブの足元からロータリーの本質である職業奉仕という、アイサーブの実践を通して、地域社会を育んで欲しい。そうすればおのずから育まれた力が世界と我々とを結ぶ基礎になると考えています。

次にロータリーとは何をする団体なのか？に対する考え方を、ポール・ハリスの言葉を借りて考えてみたいと思います。

ロータリーとは決して宗教ではない。また宗教に代わるものでもない。それは古くから存在する道徳観を我々の現代生活に適用し、職業生活に適用し実践する事だと述べております。そしてロータリーの綱領には、道徳的な水準を高めようと言っています。宗教とは自己自我の滅却を求めるのが宗教であり、道徳とは自己の保存本能(現状を維持すること)を究極のところで認めています。

さて、レイ・クリンギンスミス氏のテーマを受けて各クラブに行って欲しい事をお話しします。

①会長・幹事へ、会長はクラブの最高責任者であり、クラブの代表でありあらゆる会合の議長を務める。会長の抱負に従い、その年度の人事を指名する。幹事は会長の女房役でありまた秘書であり、また事務職の最高責任者であるがために、全ての書類に目を通す必要があり、事務局任せにしてはいけない。幹事こそクラブの要である。

②四大奉仕へ、私は四大奉仕はロータリー活動の基本と考え、本年度地区委員会構成も四大奉仕を基本として、各四大奉仕にプロジェクト検討委員会を作り運営して行きます。

③職業奉仕の見直し。職業分類はロータリーの基本であり異業種の人々が1ヶ所に集い親睦を深め、そこから異業種の人々が多種多様なノウハウを交換し合い職業奉仕活動の基本となって行くために絶対不可欠なものである。職業分類をしっかりと行い、素晴らしき職業奉仕活動を行えば、自ずと会員増強にも繋がるはずです。またクラブの職業分類の中で、会員の居ない職業を再確認して勧誘に努めるのも良いでしょう。これも必ず新しい会員の発掘に繋がるはずです。

④例会を大事にして欲しい。奉仕が生まれる場所である例会でプログラム委員会と協力して本年度は是非、クラブメンバーの卓話を行って欲しい。異業種集団だからこそ聞ける、経験、社会観、成功話、失敗談、業界裏話、ノウハウ、ネットワーク、技術力、その他多くの情報交換が無料で出来る場所が例会であり、メンバー相互の理解も深まり溝も埋まります。

⑤最後となりますが、しっかりとした職業奉仕を基本骨組みとして行うことにより、自ずとして社会奉仕・国際奉仕が自然と付いてきます。ロータリーの社会奉仕・国際奉仕は、心を基本に熱き思いで行う奉仕であり、決して金銭だけで行われるべきではない事を申し上げて終わりと致します。

以上、地区協議会の要約を報告させて頂きました。

■卓話者：
中丸次年度幹事

地区協議会報告及び雑感

本日は先月に引き続き、貴重なお時間を頂き有難うございます。本来ならクラブ協議会の話をメインにするところですが、本年度は上野ＧＥの方針で会長・幹事がＰＥＴＳと同様に同会場にて開催されましたので、内容が山本次年度会長と重複しますので多くは申し述べません。ただ再度強調させて頂くのは、上野ＧＥは各クラブには完全な独立と自主権があり、自主性をもって活動して欲しいという事とロータリーの原点は職業奉仕にあり、足元からIサーブを実践する事を強調されていました。

また、卓話についてはクラブ外から講師をお願いする事よりも、自クラブのメンバーによる卓話を推奨されています。当クラブも次年度は会員の皆様に卓話をお願いすることが多くなると思いますがプログラム委員長にご協力をお願い致します。

さてまだ時間が大分有りますので私の入会10年の中で感じたことを簡単に話させて頂きます。私が一番感じている事は皆様もご承知の事と思いますが会員の減少です。私が入会する10年前、阿部ガバナーの時に地区大会ホストを担当した時点では61名の会員がいたそうです。私が入会した当時は47名の会員が在籍しておりました(名誉会員2名を除く)。それが10年で10名減少してしまい現在37名です。今後早急に会員の増加も難しい現状ですが少しずつでも増員して行かなければならないと感じています。会員減少に伴い、所属委員会の重複による会員一人ひとりの負担が益々増加して行くと思います。これを少しでも緩和するには会員増強は避けて通れません。多田ガバナーは安易な増強は退会を招くだけとお話しされていますが、それは会員が多いクラブなら良いでしょうが当クラブでは話は別だと思います。

次に例会の規律というか雰囲気の問題です。これは単に私だけが感じていることかも知れませんが、私の入会時には阿部ＰＧがいてまだ新人の私はただニコニコの領収書をお渡しするだけでも緊張しましたし、卓話時の私語も少なかったように感じます。又、外部からお願いした講師の卓話時の私語は大変失礼にあたりますし例会の品位を疑われると思います。折角の卓話の時間ですのでじっくりと耳を傾けては如何かと私は思います。

次に、今年度枚山会長は「和をもって事にあたろう」そして山本次年度会長は「温故知新　そして和」協力して事にあたるというクラブテーマを設定されています。2年続けてクラブ会員の皆様の「和」を強調されています。会員減少に伴い各委員会への所属が重複することが避けられません。ですが委員会を委員長まかせにしないで、枚山会長の唱える「全員野球の精神」で皆様が和をもって協力して運営して行くことが必要ではないでしょうか。

最後に自分を顧みてなぜ10年も続いたのかと考えますと、退会を考えた時もありましたが、皆様と酒を酌み交わしながらロータリアンとは何ぞやを語らい、そして旅行をしたりゴルフや野球をしたりと楽しい事の方が多くあったからだと思いますしその前提にロータリーの道徳観がありました。

そして一番大きな点は会員の皆様が自分に無い、魅力と個性があったからだと思います。10年間ロータリーに関する勉強は、ほとんどしないまま次年度幹事となります。

もう手遅れかも知れませんが、これから少しずつ勉強して行きますので宜しくお願い致します。

■点鐘：枚山会長